

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年8月9日 (2012.8.9)

【公開番号】特開2011-4951 (P2011-4951A)

【公開日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-151139 (P2009-151139)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/24 (2012.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 G

G 0 6 F 17/60 1 2 6 Q

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月25日 (2012.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

疾患の識別子と前記疾患に関する検査項目とを関連付けたテーブルを記憶する記憶部と

、

入力された疾患の識別子に対応する検査項目を前記テーブルを用いて特定する特定部と

、

前記特定された検査項目について異常があるか否か確認するための所見の確認項目を有するチェックリストを生成する生成部と、

前記生成されたチェックリストを表示する表示部と、

を具備する画像診断支援システム。

【請求項 2】

前記特定部は、医用画像から C A D 処理により抽出した疾患の識別子に基づいて、前記検査項目を特定する、ことを特徴とする請求項 1 記載の画像診断支援システム。

【請求項 3】

前記表示部は、医用画像と、医用画像から C A D 処理により異常領域を抽出した結果を表示するものであり、

前記特定部は、前記表示部に表示された C A D 処理の結果をユーザが選択した際、前記選択された結果に対応する疾患の識別子を用いて前記検査項目を特定する、

ことを特徴とする請求項 2 記載の画像診断支援システム。

【請求項 4】

前記表示部は、医用画像と、医用画像から C A D 処理により異常領域を抽出した結果と共に、前記チェックリストを表示する、ことを特徴とする請求項 1 記載の画像診断支援システム。

【請求項 5】

疾患の識別子と前記疾患に関連する他の疾患とを優先度で関連付けた第 1 テーブルを記憶する第 1 記憶部と、

前記疾患の識別子と前記疾患に関する検査項目とを関連付けた第 2 テーブルを記憶する第 2 記憶部と、

検査項目とC A D結果と医用画像とを関連付けて記憶する第3記憶部と、

入力された疾患の識別子に対応する確認疾患を前記第1テーブルを用いて特定する確認疾患特定部と、

前記入力された疾患の識別子に対応する検査項目を前記第2テーブルを用いて特定する検査項目特定部と、

前記特定された検査項目に対応するC A D結果を前記第3記憶部を用いて特定するC A D結果特定部と、

前記特定された確認疾患、検査項目、及びC A D結果に基づいて前記特定された検査項目について異常があるか否かを確認するための所見の確認項目を有するチェックリストを生成するリスト生成部と、

前記生成されたチェックリストを表示するリスト表示部と、

前記チェックリストに含まれ、ユーザにより選択された検査項目に対応するモダリティの予約状況を表示する予約状況表示部と、

前記チェックリストに含まれ、ユーザにより選択されたC A D結果名に対応するC A D結果に前記第3記憶部において関連付けられた医用画像を表示する画像表示部と、

前記チェックリストに含まれる未実施の検査項目が実行された場合、前記実行された検査項目に関するC A D結果のデータを生成するC A D結果生成部と、

前記生成されたC A D結果に応じて前記チェックリストを更新するリスト更新部と、

を具備する画像診断支援システム。

【請求項6】

疾患の識別子と前記疾患に臨床学的に関連する他の疾患の識別子とを関連付けた第1テーブルを記憶する第1記憶部と、

前記疾患の識別子と前記疾患に関する検査項目とを関連付けた第2テーブルを記憶する第2記憶部と、

前記疾患の識別子のうちの、ユーザにより入力された疾患の識別子に前記第1テーブル上で関連付けられた他の疾患の識別子を特定する第1特定部と、

前記特定された識別子に前記第2テーブル上で関連付けられた検査項目を特定する第2特定部と、

前記特定された検査項目について異常があるか否か確認するための所見の確認項目を有する表示画像のデータを生成する生成部と、

前記生成された表示画像を表示する表示部と、

を具備する画像診断支援システム。

【請求項7】

前記表示部は、ユーザにより前記確認項目が選択された場合、前記選択された確認項目についての詳細な確認項目を表示する、ことを特徴とする請求項6記載の画像診断支援システム。

【請求項8】

前記第2テーブルは、前記疾患の識別子と前記検査項目とを前記検査項目の前記疾患に対する寄与度とに応じて関連付け、

前記生成部は、前記特定された検査項目を前記寄与度順に並べて前記表示画像を生成する、

ことを特徴とする請求項6記載の画像診断支援システム。

【請求項9】

前記検査対象に関する前記検査項目ごとの臨床データを入力する入力部をさらに備え、

前記第2特定部は、前記検査対象の疾患の識別子に前記第2テーブル上で関連付けられた検査項目を特定し、

前記生成部は、前記特定された検査項目に関する臨床データを前記記憶部から読み出し、前記読み出された臨床データを前記表示画像に含める、

ことを特徴とする請求項6記載の画像診断支援システム。

【請求項10】

前記生成部は、前記検査項目を検査するために必要なモダリティに関する空き情報を前記表示画像に含める、ことを特徴とする請求項6記載の画像診断支援システム。

【請求項 11】

疾患の識別子と前記疾患の緊急度とを関連付けた第1テーブルを記憶する記憶部と、
前記疾患の識別子と前記疾患に関する検査項目とを関連付けた第2テーブルを記憶する第2記憶部と、

前記疾患の識別子のうちの検査対象の疾患が所定の緊急度を有するか否かを前記第1テーブルに基づいて判定する判定部と、

前記判定部により前記検査対象の疾患が前記所定の緊急度を有すると判定された場合、前記検査対象の疾患の識別子に前記第2テーブル上で関連付けられた検査項目を特定する特定部と、

前記特定された検査項目について異常があるか否かを確認するための所見の確認項目をチェックリスト形式で表示する表示部と、

を具備する画像診断支援システム。